



飲み込みにくい・むせるといった症状の最大の原因は「加齢」です。年を重ねるにつれて、のど周辺の筋力が低下すると、飲み込む機能が衰えやすくなるからです。

そういった経験のある方は検査をおすすめします。嚥下訓練をして嚥下機能の低下を防ぎあるいは向上させることで、食事を楽しめるようになったり、栄養状態が改善したり、誤嚥性肺炎を予防することができます。

医療法人 顕正会 蓮田病院

## 摂食・嚥下外来のご案内

お年寄りに多く見られる『摂食・嚥下障害』は、栄養不足や脱水、窒息事故、誤嚥性肺炎などを招く恐れがあります。

安全においしく食べ続けるためには、その方の機能に合った工夫が必要になってきます。

### 【対象】

- ・食べ物や飲み物、唾液などでむせる方
- ・経管栄養で元気になったので経口摂取に挑戦してみた方
- ・胃ろうが必要と言われたが、セカンドオピニオンを受けたい方など

### 診察

これまでの経緯や症状について詳しくお話を伺います。嚥下障害のスクリーニングテストを行います。



### 検査

- ・血液検査
- ・頭部CT
- ・胸腹部レントゲン
- ・嚥下内視鏡検査などの嚥下機能検査



### 結果説明と指導

- ・摂食機能療法
- ・口腔ケア
- ・ST摂食訓練など食事介助方法の注意点やちょっとした工夫、ご家族や施設でもできる簡単な訓練をご紹介します。

摂食・嚥下外来は**完全予約制**です。



外来受付時間

午前8:45~11:30 午後14:00~15:30

診療日 月~土曜日

検査日 月曜日 午後

担当医師 耳鼻科専門医

事前予約・お問い合わせ

地域医療連携室

電話 048-766-3660 (直通)

受付時間 9:00~17:00



### 嚥下外来の活動内容紹介

嚥下は食物を食道に送り込むための一連の動きです。

嚥下外来では、水分でむせる、食事がつかえる感じ、食事に時間がかかる、食事をすると疲れる、食事  
中に痰が絡む、咳をよくするなどの症状のある方を対象として、嚥下障害を疑い検査をします。

検査は、嚥下機能検査として、嚥下内視鏡（VE）を耳鼻科医師が行っています。

鼻腔より咽頭ファイバースコープを挿入し、咽頭、喉頭に異常所見がないか確認し、着色水（トロミ付  
き・なし）やゼリーを用いて嚥下機能評価や誤嚥の有無を確認します。

安全に検査を施行し、言語聴覚士、栄養士、歯科と連携をし、多方面からサポートしています。

耳鼻科外来受診、または他科からの依頼にて予約を受け付けています。

今年度もよろしくお願い致します。

外来 篠塚 史穂

